

文化祭実行委員会・生徒会インタビュー

文化祭を盛り上げ、見事成功に導いた実行委員会・生徒会のみなさんにお話を聞きました。

文化祭訪問・都立国際高等学校

桜陽祭



▲桜陽祭実行委員の「さくらんぼポーズ」。
私たちも一緒にやってみました!!

- Q 今年のもうひとつ「桜龍来臨」について教えてください。
- A 本来の文化祭はお越しいただくものですが、わざわざ来てもらうようなものはないという思いから、このスローガンをつけました。関係者だけでなく一般の人にも広く来てもらいたいという思いを込めました。
- Q 桜陽祭は、どのくらいの時間をかけて準備しましたか。
- A 4月からなので、だいたい半年間かけています。
- Q 桜陽祭の由来は?
- A もともと国際高校は、赤城台高校という名前でした。赤城台高校時代の同窓会を「桜陽台」と呼んでいたため、その名残で今も使われています。



▲明るく、楽しく接して頂き、親切に答えてくれました。国際高校ならではのことが、たくさん聞けました!

- Q 計画を立てるのは難しいですか?
- A クラスごとに出し物をしているため、他のクラスとぶつかってしまっても...。その場合は、一から考え直すから大変!!
- Q 他の学校と比べて、力を入れているものがありますか?
- A 全部!! 特にポスターや装飾や階段アートの凝っています。
- Q 今回の来場者数は何人でしたか?
- A 約六千人!! 親御さんや一般の方、外国人の方も訪れてくれました。
- Q 国際高校生の悩みを教えてください。
- A 英語を喋るのが苦手な人もいるので、話せる前提で声をかけられるとツライです。あと、髪を染めたりしている人が多いので、ヤンキーと思われる、電車中での視線が痛いこともあります。
- Q お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

- Q 桜陽祭で特に苦労したこと、楽しかったことは何ですか?
- A とにかく忙しかったです。クラスの事だけでなく、生徒会や部活、有志の活動などもあり、時間配分に苦労しました。その分、本番はとても楽しかったです。
- Q どうして生徒会に入ろうと思ったのですか?
- A 様々な校内行事や児童館との取り組みに積極的に取り組めると思っていたからです。
- Q 桜陽祭で生徒会はどのような活動を行いましたか?
- A 「国際の母」というブースで、国際高校に入りたい中学生やその保護者からの質問に答えました。自分もそうでしたが、中学生の「ここに入りたい」という想いが強く伝わってきて、国際高校が内にも、外から見てもとても楽しい(楽しそう)な学校なのだ改めて感じました。生徒会企画が動き出したのが桜陽祭の直前だったのでギリギリでした。
- Q 都立国際高校の魅力は何ですか?
- A 一人一人の個性が豊かで、学校全体で考えられる色々な事ができることです。そして、思いやりをもった優しい人が多いことです。
- Q 桜陽祭の他にも面白い学校行事はありますか?
- A 体育祭と対面式です。体育祭では3つの演団で行うダンス、対面式ではKDCやジャバスタなどのパフォーマンスが魅力的で見ものです。
- Q その他学校則がほとんどないですね(笑)。ただ、自由な環境の中でも、みんなルールを守って生活していると思います。
- Q 校内の普段の雰囲気はどうですか?
- A いい人が多く、授業の時も休憩時間もみんなフレンドリーです。また、みんな何事にも積極的に取り組んでいます。
- Q 校外活動はどのような事を行っていますか?
- A 駒場児童館での小学生向けイベントやティーンズ・フェスタのプロジェクトスタッフなど様々な活動に参加しています。
- Q 区内の中学生に一言、お願いします。
- A 国際高校に興味がある人もない人も、ぜひ一度ここに来てみてください。どんな学校か知ってもらえると嬉しいですよ。
- Q お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

